

平成28年度函館市地域ケア全体会議

函館市における
地域ケア会議の開催について

函館市保健福祉部高齢福祉課

1. 函館市地域ケア全体会議の目的

認知症になっても住み慣れた地域でその人らしい生活を営むために、地域住民同士がお互い支え合える地域づくりを行う



**函館市の高齢者の状況
(現状・推計)**

**地域ケア会議で把握された
地域課題**

2. 函館市の高齢者の状況

① 現在の状況（H28.3末）

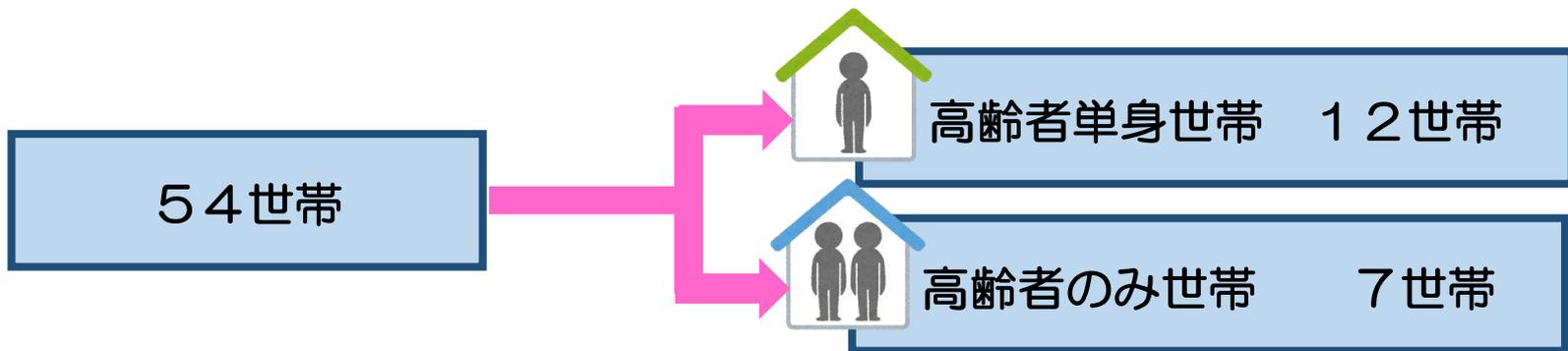
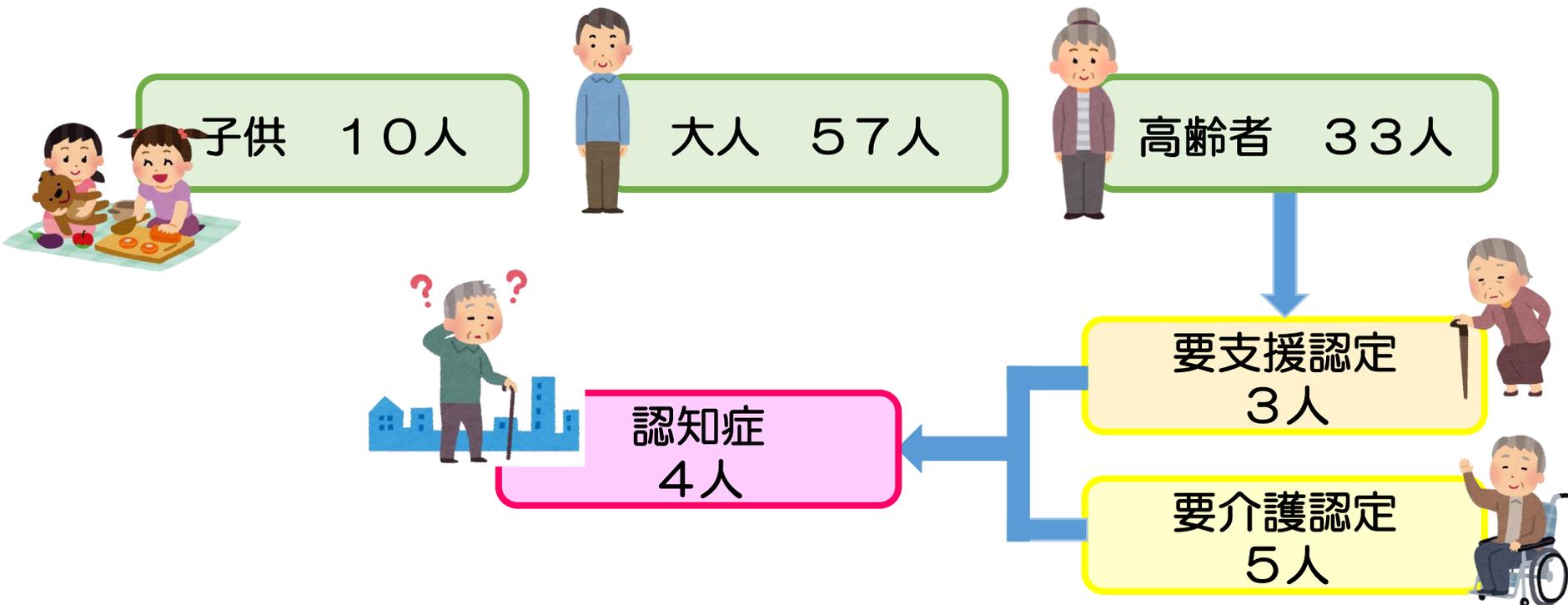
人口	266,773人
年少人口(0~14歳)	27,356人 (10.3%)
生産年齢人口(15~64歳)	152,760人 (57.3%)
高齢人口(65歳以上)	86,657人 (32.5%)

世帯数	143,210世帯
高齢者単身世帯数	32,333世帯 (22.6%)
高齢者のみ世帯数	17,377世帯 (12.1%)

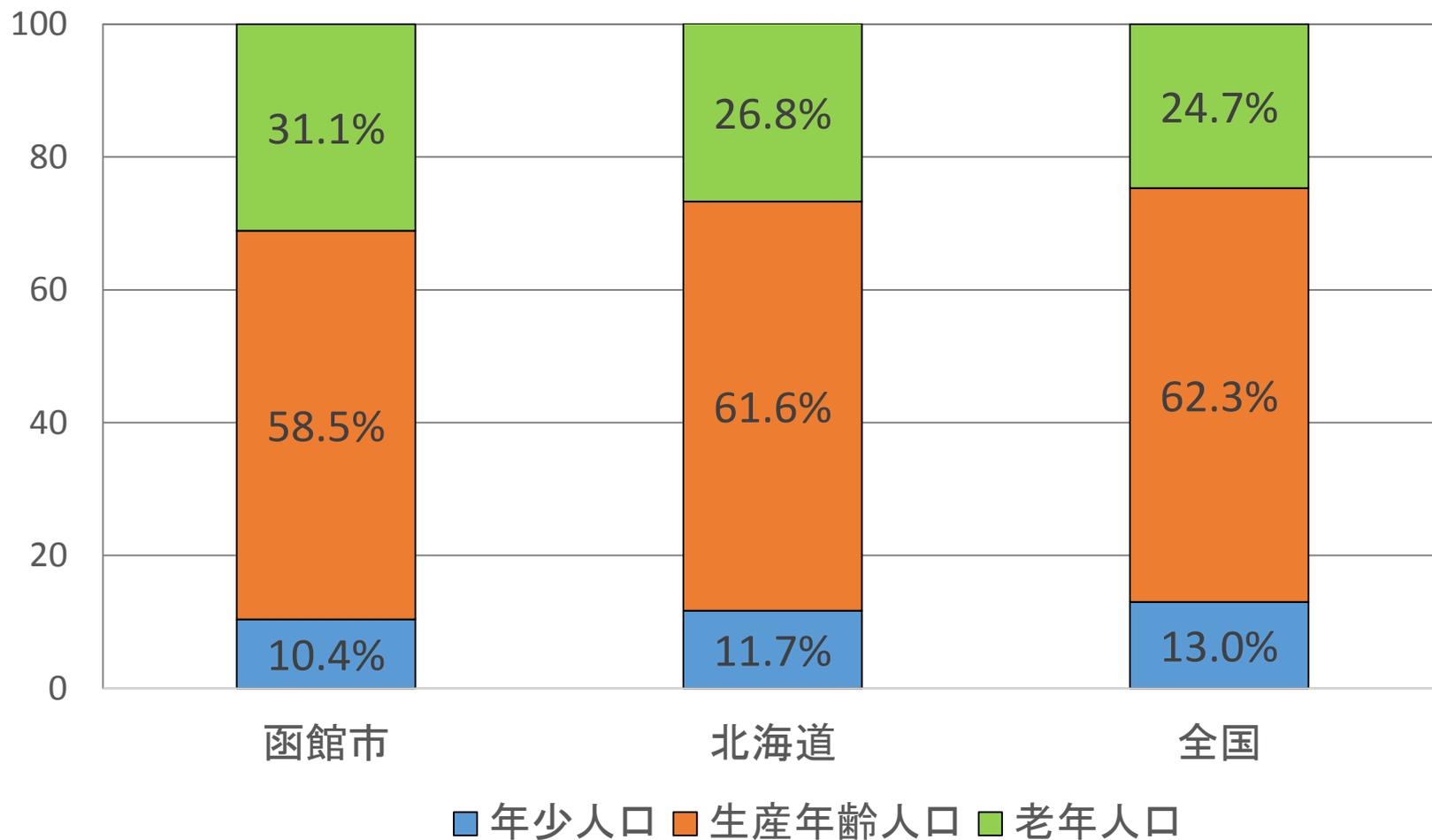
要介護認定者数	19,168人 (22.1%)
要支援認定(要支援1・2)	7,120人 (8.2%)
要介護認定(要介護1~5)	12,048人 (13.9%)

* 要介護認定者数の割合は高齢人口に占める割合を記載

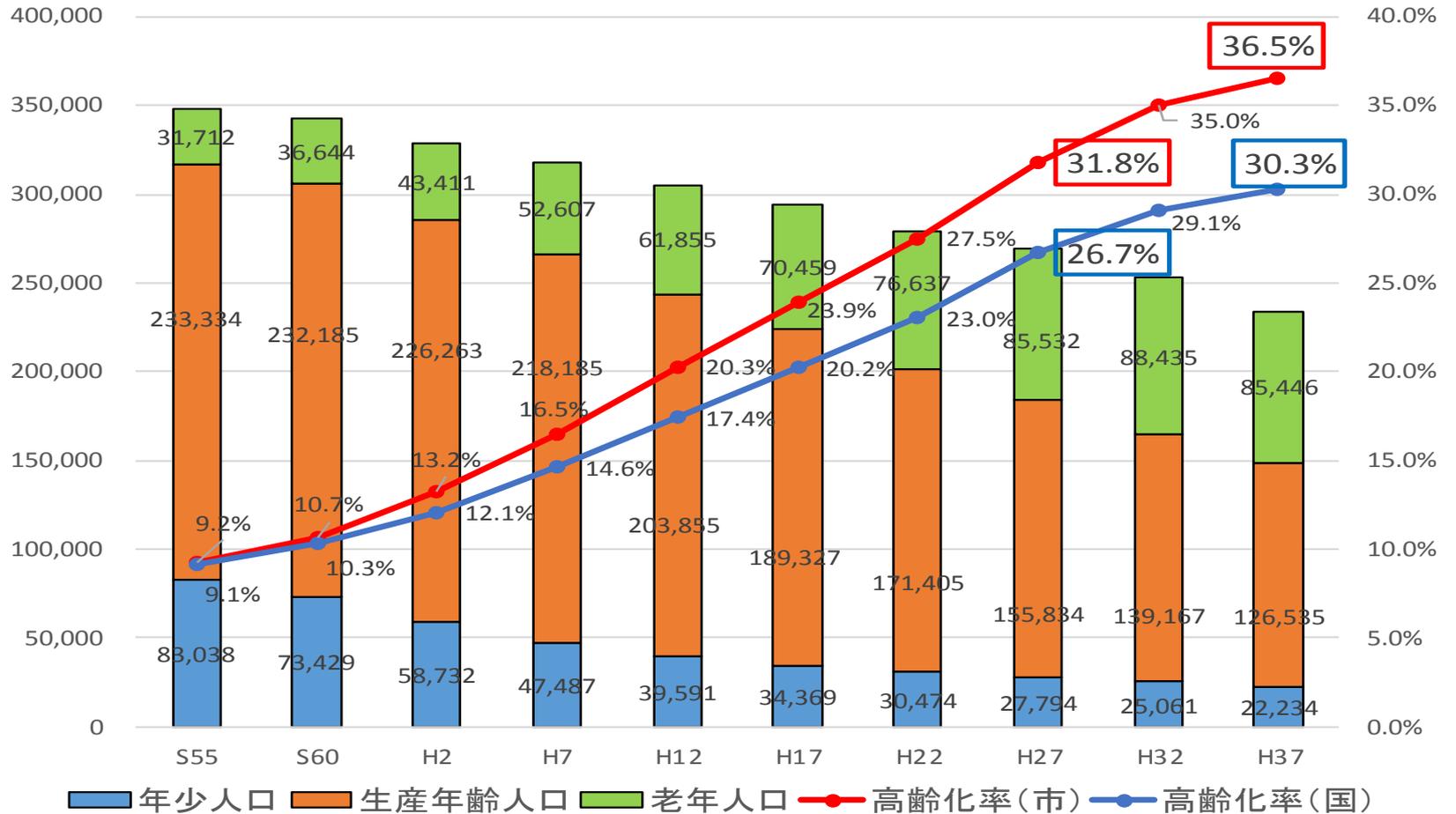
函館市が100人の町だったら・・・



② 年齢別構成比の国・道との比較 (H26.12末現在)



③ 高齢者人口，高齢化率の推移



市: S55～H22は国勢調査, H27～H37は住民基本台帳の各歳人口を基にした推計値
 国: S55～H22は国勢調査, H27～H37は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

3. 地域ケア会議の取組みについて

① 函館市における地域ケア会議の全体像

○ 個別ケースの検討を行う地域ケア会議（包括支援センター）

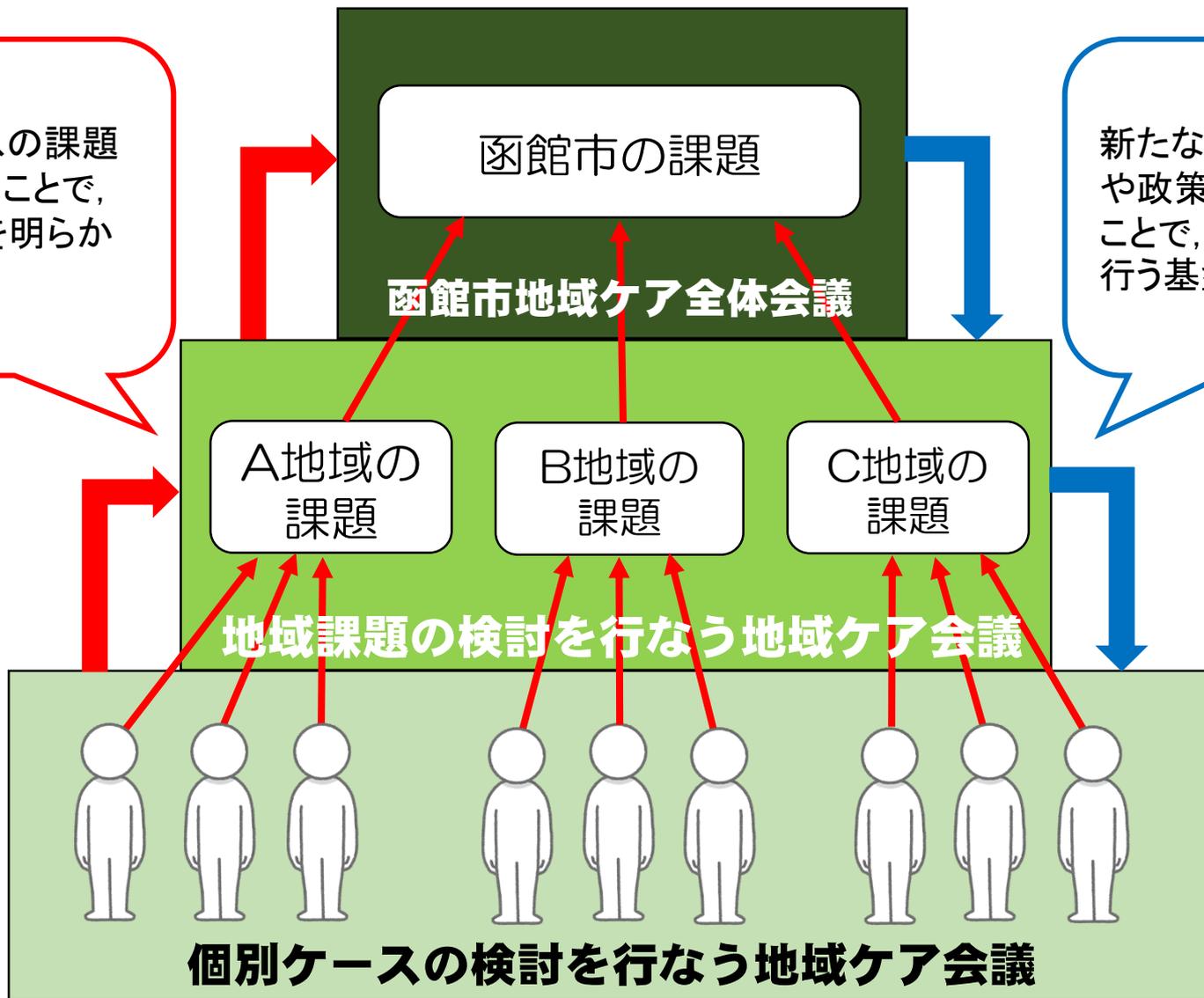
- 個別ケースの支援内容の検討
- 担当者レベルのネットワーク構築，地域課題の把握，介護支援専門員をはじめとする支援者の支援力の向上

○ 地域課題の検討を行う地域ケア会議（包括支援センター）

- 日常生活圏域の地域課題の把握と解決策の検討
- 日常生活圏域レベルのネットワーク構築，地域課題の把握，地域づくりや資源開発

○ 函館市地域ケア全体会議（市）

- 政策的な対応が必要な課題や市全体の課題についての解決策の検討
- 政策形成や資源開発

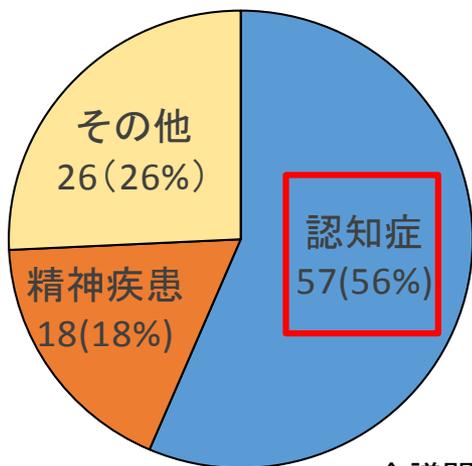


個別ケースの課題を蓄積することで、地域課題を明らかにする。

新たな仕組みづくりや政策形成を行うことで、個別支援を行う基盤を作る。

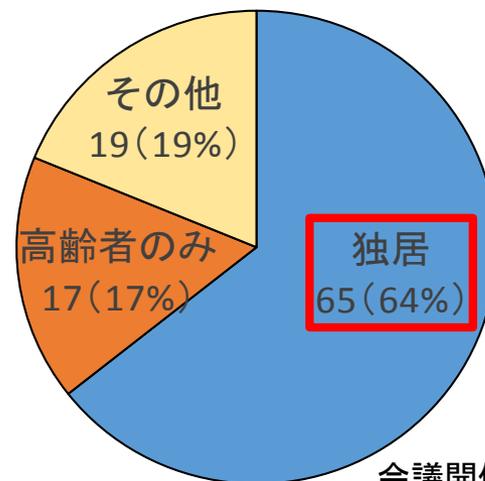
② これまでの地域ケア会議で把握した課題
(個別ケースの検討を行う地域ケア会議)

事例の背景(H26~H27)



会議開催数:101回

事例の世帯構成(H26~H27)



会議開催数:101回



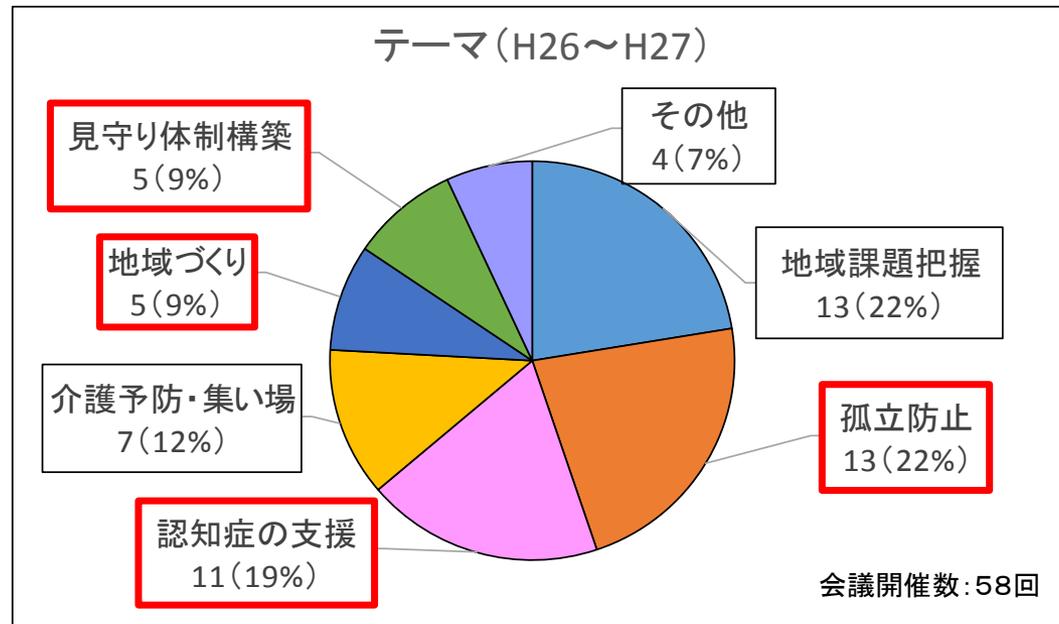
**認知症・独居のケースは、住み慣れた地域での生活を
継続するうえで、様々な課題を抱えている**

検討された課題	件数	割合
健康管理に関する課題(病状悪化, 受診, 服薬ができない等)	50件	49.5%
日常生活に関する課題(家事が行えない, 在宅生活の不安等)	47件	46.5%
家族に関する課題(介護負担の増大, 家族関係の悪化等)	32件	31.7%
地域との関係に関する課題(近隣トラブル, 孤立等)	32件	31.7%
認知症や精神疾患による問題行動(徘徊等)	27件	26.7%
サービス利用に関する課題(利用拒否, 不適切な利用等)	25件	24.8%
支援者との関係に関する課題(支援者の拒否, 連携不足等)	20件	19.8%
経済状況に関する課題(経済的困窮, 金銭管理困難等)	19件	18.8%
その他	9件	8.9%



**高齢者個人や支援者自身の課題だけではなく、
地域との関係に関する課題を抱えているケースも多い**

③ これまでの地域ケア会議で把握した課題
(地域課題の検討を行う地域ケア会議)



孤立防止や認知症の方への支援，地域づくり，見守り体制の構築など，地域で高齢者を支えるための話し合いが多く行われた

会議開催数:58回

検討された課題	件数	割合
地域住民の理解に関する課題(認知症についての理解不足等)	21件	36.2%
地域の互助力の低下(関係の希薄化, 町会活動の衰退等)	12件	20.7%
高齢者自身が抱える課題(認知症高齢者の増加, 閉じこもり等)	10件	17.2%
地域福祉の担い手に関する課題(担い手不足, 負担の増加等)	6件	10.3%
関係機関に関する課題(連携不足, 情報共有の困難さ等)	4件	3.4%
その他	9件	15.5%



全市的に、地域住民の理解に関する課題、地域の互助力の低下が地域課題としてあげられた

④ これまでの地域ケア会議で検討された解決策

会議開催数：159回

検討された解決策	件数	割合
ネットワーク構築(地域・関係機関)	92件	57.9%
見守り体制の構築(地域・関係機関)	73件	45.9%
サービス等利用調整	52件	32.7%
地域住民への周知(認知症サポーター養成講座の開催等)	22件	13.9%
健康管理に関する支援(受診調整等)	22件	13.9%
家族への支援	19件	11.9%
その他	15件	9.4%



地域課題の解決には、見守り体制の構築や地域住民への周知等、地域住民を巻き込んだ対策が必要

4. 函館市地域ケア全体会議の内容

函館市の現状の共有

- 函館市の現状とこれからの課題
- 地域で行われている取組み
- 支援者が課題と思っていること等

目標とする地域像の検討

- 地域住民同士がお互い支え合える地域とはどんな地域か
- 函館市としてどのような地域づくりをめざせばよいか



目標とする地域像を共有する！！

認識を共有することで、連携の推進と効果的な取組みを目指します

平成29年度以降は、皆さんと共有した地域像の実現のため、どのような取組みが必要か、具体的な検討を行う